

# 地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和元年7月19日)

- 1 鳥取県・米子市政策連携懇談会の開催について  
【市町村課】・・・ 1 ページ
- 2 県政モニタリング事業の第1回会合の実施結果について  
【県民参画協働課】・・・ 2 ページ
- 3 シルバー人材センターの要件緩和について  
【県民参画協働課】・・・ 3 ページ
- 4 東京2020オリンピック聖火ランナーの公募開始について  
【スポーツ課】・・・ 5 ページ
- 5 モンゴルにおけるワールドマスタースゲームズ2021関西のPR等について  
【スポーツ課】・・・ 6 ページ
- 6 バス・タクシー・トラックの魅力を伝える学校キャラバン隊の編成について  
【地域交通政策課】・・・ 7 ページ

地域づくり推進部



# 鳥取県・米子市政策連携懇談会の開催について

令和元年7月19日  
市 町 村 課

鳥取県知事と米子市長をはじめとする県・市幹部職員が一堂に会して、政策課題や対応方針等について共通理解を図り、連携して課題解決に取り組むため、次のとおり意見交換会を開催しました。今後も実務レベルでの協議や取組を進めていくこととしています。

1 日 時 令和元年7月12日(金)15:30～16:30

2 場 所 米子市役所5階 議会第1会議室

3 出席者

【鳥取県】 知事、統轄監、令和新時代創造本部長、総務部長、地域づくり推進部長、生活環境部長、  
県土整備部長、西部総合事務所長

【米子市】 市長、副市長、総務部長、総合政策部長、都市整備部長、経済部長、文化観光局長

4 議題及び主な発言の内容

(1)米子境港間の高速道路について

- ・米子境港間の高速道路については、先に進むタイミングだと思う。論点は詰まってきたおり、概ねのイメージも語れる。境港市とも一緒に、国に対して正式な要望という形で進めればと思う。(知事)
- ・米子境港間の高速道路については、米子市がリーダーシップをとり地元の合意形成を図っていききたいので、県も一緒に入ってもらい、とりまとめについて助言・指導をお願いしたい。(市長)

(2)米子駅周辺の整備について

- ・米子駅前の形を変えていこうということには大賛成。権利関係の整理であるとか、バスターミナルやタクシー乗り場の再編など、一緒に検討させていただきたい。(知事)

(3)西部総合事務所新棟整備について

- ・西部総合事務所新棟整備について、基本的な内容(※)を合意できたので、具体的な手続きを一緒に進めたい。これからは、公共施設、庁舎の在り方をフレキシブルに考えていかなければならない。モデルケースになるように、今回のプロジェクトを成功させたい。(知事)

※西部総合事務所敷地内に県米子県土整備局・生活環境局建築住宅課及び米子市都市整備部が入居する新棟を県・市がPFI手法により共同整備すること、米子市役所本庁舎に県西部県税事務所が入居すること など

(4)米子市民体育館等の体育施設の在り方について

- ・米子市民体育館等の体育施設の在り方については、県立米子産業体育館と併せてまとめていきたい。今後は、県と市による体育施設の在り方検討会を設置して議論したい。(市長)

(5)県西部地区の観光振興(民間団体との連携)について

- ・伯耆国「大山開山1300年祭」によって育ったり、見いだされたコンテンツがある。これを続けることにより、地域が自立的に観光収入を得られるようにしていきたい。そのような意識を持って、大山山麓・日野川流域観光推進協議会を運営していきたい。(市長)

## 県政モニタリング事業の第1回会合の実施結果について

令和元年7月19日

県民参画協働課

特定の県政テーマについて、公募による県政モニターから「県民目線・県民感覚」の意見や評価をいただき、県の施策に反映させる「県政モニタリング事業」の第1回会合を実施しましたので、その概要を報告します。

### 1 事業概要

公募により選ばれた県政モニターが、毎年度定める県政テーマについて、県民目線・県民感覚から意見交換や評価を実施する。県政モニターが改善提案をまとめて担当課に報告し、担当課がその提案を県施策に反映させる。

#### (1) 今年度の県政テーマ

テーマ	内容
〔テーマ1〕 地域防災力の向上	地域住民が主体となる「支え愛マップづくり」の普及を図り、災害時や日常の支え合い活動への展開を推進する。
〔テーマ2〕 健康づくり	県民における健康意識の醸成や健康づくりに向けた行動変容を目的として取り組む「健康マイレージ事業」の普及、特に働き盛り世代の更なる参加拡大を図る。

#### (2) 体制

- ・県政モニター：12名（各テーマ6名）
- ・コーディネーター：〔テーマ1〕 国立大学法人鳥取大学 細井理事、〔テーマ2〕 同大学 多田地域学部教授
- ・県担当課：〔テーマ1〕 危機管理政策課、〔テーマ2〕 健康政策課

#### (3) 実施スケジュール

- 〔4～5月〕 県政モニター募集
- 〔6月〕 第1回会合（県の取組を知り、グループ毎で課題を探る）
- 〔7月〕 レポート提出（各自で課題を考える）
- 〔7～8月〕 モニター会議（2回程度開催、課題を深掘りし、改善提案の方向性を考える）
- 〔10月〕 意見・改善提案のまとめ、提言報告

## 2 第1回会合の概要

(1) 日時 令和元年6月29日（土）午後2時から4時まで

(2) 場所 県立倉吉体育文化会館（倉吉市山根529-2）

(3) 県政モニターの課題認識・意見等

〔テーマ1〕「地域防災力の向上」

- ・「支え愛マップづくり」では、個人情報話し合うことになるため、情報を提供したくない方や参加されていない方の情報の取扱いが難しいと感じた。
- ・「支え愛マップづくり」は、自治会単位での取組であるが、学生や1人暮らしの人は自治会未加入者であることが多く、地域との付き合いが薄く、どのように巻き込んでいくかが課題と思われる。
- ・素人が手助けの必要な人を支援することは難しく、事故などでの責任の所在を明確にするために、法人格を有する団体等にも協力してもらってはどうか。

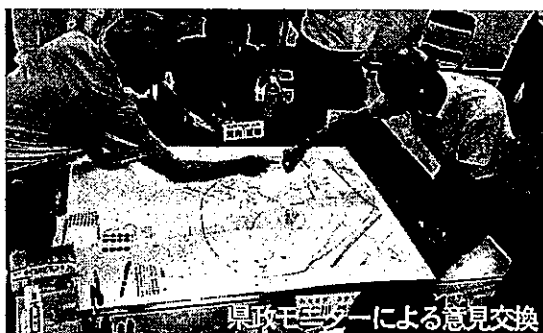
〔テーマ2〕「健康づくり」

- ・「健康県民マイレージ事業」は、今回の説明会で初めて知った。広報が不十分と思われる。特に参加が期待される若者には届いていない様子である。
- ・「健康県民マイレージ事業」の参加促進のために特産品等を景品にしているが、若者には響かないと思われる。
- ・仕組みがわかりにくいうえ、ポイント付与に必要な歩数記録を自己申告制としていることも疑問に思う。

## 3 今後の取組

今回実施した第1回会合での意見交換を踏まえ、県政モニターが各テーマの課題をまとめる。

次回第2回会合で、県政モニターが、各テーマの課題整理と意見交換を実施し、改善提案に向けた検討を実施する。



## シルバー人材センターの要件緩和について

令和元年7月19日  
県民参画協働課

シルバー人材センターが取り扱う労働者派遣事業及び職業紹介事業について、公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会からの要望を受け、以下のとおり要件緩和の指定を行いました。

働くことを希望する高齢者に経験や能力に応じた仕事が提供され、就業機会が拡大するとともに、幅広い分野で人手不足感が高まる中で、企業の人材確保策としても活用されることが期待されます。

### 1 内容

労働力の確保が必要な地域において、高年齢退職者の就業の機会の確保に相当程度寄与することが見込まれる業種・職種について、次のとおり要件緩和の指定を行った。

【指定前の就業時間】概ね月10日程度以内又は概ね週20時間を超えない

【指定後の就業時間】週40時間まで

＜主な業務＞ 県下全域：農作業（園芸・除草・苗植え作業等）、商品販売  
地域を限定：運搬・清掃・包装等に係る軽作業等

※詳細は別紙のとおり

### 2 県の指定日 令和元年7月1日

### 3 実施主体 公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会

※シルバー人材センターとは、

定年退職者などの高年齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高年齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献する組織である。

### 4 今後の取組

就業先の拡大や会員ニーズへの対応、新規会員の増加を図るとともに、適正な就業が行われるよう、鳥取県シルバー人材センター連合会及び各シルバー人材センターによる企業等及びシルバー会員に向けた広報活動を県も協力して展開する。

## 別紙

指定地域	業種（日本標準産業分類）	職種（厚生労働省編職業分類）
県下全域	A 0 1 農業	G 4 6 農業の職業
	I 5 6 各種商品小売業	D 3 2 商品販売の職業
		K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
Q 8 7 協同組合	G 4 6 農業の職業	
鳥取市	E 0 9 食料品製造業	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
	S 9 8 地方公務	I 6 6 自動車運転の職業
米子市	I 5 9 機械器具小売業	K 7 6 清掃の職業
	K 7 0 物品賃貸業	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
	M 7 5 宿泊業	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
	R 9 2 その他の事業サービス業	K 7 6 清掃の職業
K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業		
米子市及び日吉津村	I 5 6 各種商品小売業	C 2 5 一般事務の職業
		C 2 6 会計事務の職業
日吉津村	R 9 2 その他の事業サービス業	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
倉吉市	E 1 2 木材・木製品製造業	H 5 4 製品製造・加工処理の職業
		K 7 7 包装の職業
	E 2 4 金属製品製造業	H 5 4 製品製造・加工処理の職業
		K 7 5 運搬の職業
		K 7 7 包装の職業
K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業		
Q 8 8 廃棄物処理業	C 2 5 一般事務の職業	
倉吉市及び北栄町	Q 8 8 廃棄物処理業	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
琴浦町	S 9 8 地方公務	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業
琴浦町及び北栄町	S 9 8 地方公務	E 4 1 居住施設、ビル等の管理の職業
北栄町	I 5 3 建築資材、鉱物、金属材料等卸売業	H 5 4 製品製造、加工処理の職業
	I 6 0 その他の小売業	K 7 5 運搬の職業
南部町	R 9 3 政治・経済・文化団体	K 7 8 その他の運搬・清掃・包装等の職業

## 東京 2020 オリンピック聖火ランナーの公募開始について

令和元年7月19日  
ス ポ ー ツ 課

東京オリンピック競技大会の聖火リレーについて、県内での実施(2020年5/22~23)に向け、「東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会」を中心に準備を行っているところですが、このたび、県内を走行する聖火ランナーの県実行委員会公募枠の募集を開始しました。

### 1 東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会公募枠のオリンピック聖火ランナー募集概要

- (1) 募集期間 2019年7月1日(月)~8月31日(土)
- (2) 公募主体 東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会
- (3) 公募人数 23名程度
- (4) 応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、下記提出先に電子メールまたは郵送・持参により提出。  
応募用紙は、県ホームページ(<https://www.pref.tottori.lg.jp/tokyo2020-seika/>)からダウンロードしていただくか、下記提出先窓口にて受取り。  
※住所・氏名等の基本情報のほか、自己PR・応募動機、第三者の推薦等を記入し提出。
- (5) 提出先 東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会事務局(県庁スポーツ課)またはお住まいか走行を希望する市町村役場スポーツ担当課

### 2 広報について

県ホームページ、県広報媒体(TVスポットCM、新聞お知らせ、県政テレビ番組等)のほか、実行委員会でポスター・チラシを制作しPRを行っている。

また、県内市町村にも協力いただき、各広報誌等で周知を図っている。

#### (参考) 東京2020オリンピック聖火ランナーの選出について

- (1) 県実行委員会での選出枠数：44名・枠(1日あたり22名)  
※うち23名を公募予定である。  
※過去大会でのランナー数を参考にすれば、プレゼンティングパートナー(聖火リレースポンサー4社：コカコーラ、トヨタ、NTTグループ、日本生命)枠も含めた県内全体でのランナー数は、2日間で180名程度となる見込みである。



県実行委員会制作ランナー募集ポスター

### (2) 県実行委員会でのランナー選出計画

区分	選出数	備考
PRランナー	1名	
グループランナー	1枠	10名までのグループで走行可能
市町村公募ランナー	23名	4市(各2名)、15町村(各1名)
市町村推薦ランナー	19名	各1名
合計	44名・枠	【推薦】21名・枠【公募】23名

### (3) ランナー選定について

市町村は候補者を選出し、県実行委員会へ提出する。県実行委員会ランナー選考部会で最終調整後、組織委員会の承認を得て最終決定となる。ランナー決定は12月頃の予定である。

### (4) その他

プレゼンティングパートナーのランナー公募は、6月中旬から8月末まで実施している。

# モンゴルにおけるワールドマスターズゲームズ 2021 関西のPR等について

令和元年7月19日  
スポーツ課

グラウンド・ゴルフの聖地化、海外普及の一環として、6月にモンゴルのウランバートル市で開催された「国際グラウンド・ゴルフ親善大会2019」に県、県グラウンド・ゴルフ協会合同で参加し、ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西において本県で開催するグラウンド・ゴルフ競技への参加に向けた勧誘等を行うとともに、同大会に参加する諸外国の代表者とグラウンド・ゴルフの普及等について意見交換を行いました。

## 1 訪問概要

- (1) 期 日：令和元年6月27日(木)～7月2日(火)
- (2) 場 所：モンゴル国ウランバートル市
- (3) 訪問者：鳥取県3名(地域づくり推進部スポーツ課長他)  
県グラウンド・ゴルフ協会員2名 計5名



## 2 国際グラウンド・ゴルフ親善大会2019

期 日	令和元年6月29日(土)、30日(日)
主 催	ウランバートル市、モンゴルナショナルグラウンド・ゴルフ連盟他
参加人数	選手約410名(うち本県選手5名)
参加国	モンゴル、ロシア、中国(内モンゴル自治区)、ハンガリー、ポーランド、インド インドネシア、日本 計8カ国

### 《WMG2021 関西及びグラウンド・ゴルフPR活動》

大会会場内にPRブースを設置し、WMG2021 関西のPRグッズ、(うちわ等)やグラウンド・ゴルフプレーガイドの配布を行い、WMG2021 関西への参加を呼びかけたところ、参加選手のほとんどが手に取り興味を示していた。



## 3 各国代表者との意見交換会

- (1) 期 日：令和元年6月29日(土)
- (2) 参加国：7カ国(モンゴル、ロシア、中国(内モンゴル)、ハンガリー、ポーランド、インド、日本)
- (3) 日本側の発言
  - ・WMG2021 関西についてPRし、積極的な参加を呼びかけた。
  - ・海外における用具不足解消に向け、湯梨浜町で用具販売の会社が立ち上げられたことを報告し、活用を呼びかけた。
  - ・国際組織が5月24日に設立となり、モンゴルから副会長が選出されたことに改めてお祝いのメッセージを送った。
- (4) 主な意見
  - ・発祥の地鳥取でプレイするのが選手の夢。WMG2021 関西に出場できるよう頑張っていきたい。(中国・内モンゴル自治区)
  - ・今まで用具の寄付、支援を求めてきたが、用具販売の会社のできたので、今後はこれを活用して、自分の道具で長くグラウンド・ゴルフを楽しんでいきたい。(モンゴル)
  - ・(副会長国として)8月からウズベキスタン、カザフスタンへの普及活動を開始する予定である。(モンゴル)
  - ・2019年9月にポーランドで開催する大会に、是非日本からも参加してほしい。(ポーランド)





## バス・タクシー・トラックの魅力を伝える学校キャラバン隊の編成について

令和元年7月19日  
地域交通政策課

運送業のドライバーの高齢化と人手不足が課題となる中、地域住民の生活に欠かせない路線バス、タクシーの公共交通や貨物運送を担うトラックを維持確保していくため、国、県、交通事業者が連携して運送業の魅力を伝える学校キャラバン隊を編成し、鳥取市立若葉台小学校で初めて乗車体験等を開催しました。

1 日 時 令和元年6月25日(火)午後2時～(2時間程度)

2 場 所 鳥取市立若葉台小学校

3 主 催 運送業界応援プロジェクト実行委員会  
＜構成メンバー＞

鳥取商工会議所、(一社)鳥取県バス協会、(一社)鳥取県トラック協会、(一社)鳥取県ハイヤータクシー協会、国土交通省中国運輸局鳥取運輸支局、鳥取県

4 対象児童 6年生 36名

5 内 容

(1) 「いま伝えたい!運送業界で働くドライバーという仕事」

校舎内のホールにおいて、バス・タクシー・トラックの各ドライバー等が講師となり、児童に運輸業界やドライバーの仕事を紹介した。

(2) 乗車体験!乗ってみよう・触ってみよう

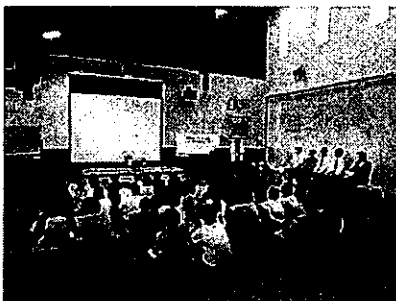
学校の玄関前広場において、大型ノンステップバス、UDタクシー、大型トラックへの乗車体験を行った。

6 講師(バス・タクシー・トラック事業者)の感想

- ・子どもたちに、仕事の魅力や、地域の魅力を伝えることができ大変有意義であった。小学生の皆さんの記憶にも残せたと思う。
- ・「車に乗れない方や車のない方に欠かせない仕事である。」(バス)、「人の暮らしや社会を支えている充実感がある。」(トラック)、「お客様へのおもてなしのサービス業であり、おもてなしのプロを目指す。」(タクシー)ことを伝えることができ、素晴らしい経験をする事ができた。

7 児童の感想

- ・バス・タクシーは日ごろからよく利用するが、お仕事をされている方の思いやりが良く分かった。トラックは物を運ぶだけでなく、いろいろな人とのコミュニケーションが必要だと分かり、とてもやりがいのある職業だと思った。どの仕事も大切な職業だと思った。
- ・タクシーは人を運ぶだけでなく、観光の案内などの仕事もあることがわかった。鳥取のことをよく知っているタクシードライバーの仕事にとっても関心を持った。これを機会にタクシーを利用してみたい。乗車体験ではバスが高齢者や車椅子利用者にとって乗りやすいように作られていてすごいと思った。



(運送業の魅力紹介)



(車イスでのバス乗車体験)



(UDタクシーの乗車体験)

8 今後の予定

今回と同様の、学校キャラバン隊は11月以降に鳥取市立米里小学校でも実施する予定です。

また、国、県、交通事業者等が連携して、10月に東部・中部・西部の自動車学校や運転免許試験場で乗車体験付き就職相談会を開催し、交通事業の魅力向上とドライバー確保対策を行います。

